

2023年度（令和5年度）
学校関係者評価報告書



2024年3月

学校法人帯広コア学園

帯広コア専門学校

2023年度 学校関係者評価報告書

1. 学校関係者評価委員会

- ・開催日時 2024年3月29日（金）16:30～17:30
- ・開催場所 帯広コア専門学校 13教室

学校関係者評価委員（敬称略）

氏名	所属	属性
榆木 伸司	北海道帯広緑陽高等学校	高校
佐藤 寛之	帯広商工会議所	団体
志村 克哉	帯広電子株式会社	企業
石井 和裕	農業	保護者
戸田 幸太郎	東北海道いすゞ自動車株式会社	卒業生

事務局

千葉 直樹	理事長兼校長
畠山 晴美	教務主任介護福祉科主任
村川 貴康	情報系学科主任
前田 恭子	歯科衛生士科主任
野尻 志保	医療ビジネス科主任
藤田 薫	事務長

2. 評価対象期間

自:2023（令和3）年4月1日
至:2022（令和4）年3月31日

3. 実施方法、配布資料、公表

学校関係者評価の実施にあたっては、学校関係者評価委員の皆様へ「学校自己評価」の結果について事務局より説明し、評価結果に対するご意見をいただきました。いただいたご意見は、本報告書として取りまとめ、今後の教育活動や学校運営の改善に活かし、教育の質向上に努めることとし、ホームページ等に公表致します。

（資料）

- ・2022年度 事業報告資料
- ・帯広コア専門学校 自己評価報告書
- ・学校パンフレット一式

4. 評価基準毎の学校関係者評価

評価項目毎に委員からの評価について報告します。

全員から基準 1 から基準 10 まで適切であると評価を受けました。

5. 意見等

- ・学生をどのように評価するかが見えない。
- ・PTA、同窓会など、帰属性が希薄化してきている。
- ・学生の活躍をもっと PR しても良いのではないか。
- ・放送大学を卒業できない学生が多く、もったいない。
- ・情報系は進化が早いので、時代に合った教育をしてほしい。
- ・帯広に残る若者が少なく、今のままでは企業の継続が難しくなる。中小企業では賃上げも難しい。

6. 学校の見解

- ・十勝唯一の総合高等教育機関として地域社会の変化そして将来を見つめ、常に”学校の価値”を考え、教育の変革を模索している。
- ・学生の学力、個性など多様性を尊重しながら、個別最適な指導を模索しているが、教員の負担が大きいく、入学選考の在り方も含め、指導方法などについて検討を続け改善したい。
- ・就職率は、学生一人一人の個性を活かせるよう個別指導に取り組み今年も含め直近 3 年は、100%を達成できている。
- ・保護者との連携は、情報通信技術などを活用した新たな方法の構築を進める。また、PTA や同窓会、協賛会など、その在り方について改めてステークホルダーと連携して検討して行きたい。
- ・学生による出前授業の開催や学習成果を地域社会へ発信する学内セミナーなど積極的に実施する。特に、最新の ICT 技術を学生が学び地域社会へ発信する” Tech Lab 授業”を継続拡大する。
- ・本校で学ぶ専門職の地域社会でのプレゼンスの向上を図り、地域に今後必要とされる人材をしっかりと育てたい。
- ・学内の整理整頓や書類のデジタル化を積極的に推進し、情報管理の高度化を計画的に推進する。
- ・出前授業や学内セミナーなどを今後更に機会を増やして行く。